



環境試料(水)から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため、県内で実施している検査で、採取した環境試料(水)から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出されました。

今シーズンは1月の県内初発生(旭市)に加え、既に国内各地で鳥インフルエンザウイルスが確認されています。引き続き厳重に警戒をお願いします！

これから旧正月（令和8年2月17日）の時期を迎えます。人や物の動きが活発になることが見込まれ、さらに、渡り鳥の飛来・滞在シーズンが続きます。

下記事項に留意し、防疫対策の徹底を！

農場の従業員、研修生にもお知らせしてください！

- 高病原性鳥インフルエンザ等の発生地域への渡航は自粛しましょう。また、海外からの肉製品等の持ち込みは禁止です
- 看板などの対策で**部外者を入れない**
- 野生動物の侵入防止のため、**防鳥ネットや畜舎壁等の再点検、修繕**を行いましょ。う。
- ハエなどの**衛生害虫の駆除**を行いましょ。う
- 衛生管理区域への立入時は**衣服や長靴を交換**しましょ。う。また、手指の消毒を徹底しましょ。う
- 踏込消毒槽等は、**汚れた場合だけでなく、少なくとも**1日に1回は交換**し、消毒薬は適正な濃度で使用しましょ。う
- 引き続き、**毎日の健康観察と異常発見時の早期通報**をお願いします